

応用生態工学会 第 19 回郡山大会 開催案内

開催日時 平成 27 年 9 月 10 日 (木) ~ 9 月 13 日 (日)

日程 9 月 10 日 (木) エクスカーション A 【三春ダムコース】 (午前)

研究発表会 ポスター発表, 自由集会

9 月 11 日 (金) 研究発表会 口頭発表, 自由集会, 懇親会

9 月 12 日 (土) 総会 (午前), 公開シンポジウム (午後)

9 月 13 日 (日) エクスカーション B 【相馬松川浦・仙台湾南部海岸コース】

会場 日本大学工学部 70 号館 (福島県郡山市)

本大会は, 土木学会継続教育 (CPD) プログラム認定に申請予定です。

●申し込み及び問合せ先

応用生態工学会事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7-5

麹町ロイヤルビル 405 号

TEL: 03-5216-8401 FAX: 03-5216-8520

E-mail: koriyama_19th@ecesj.com

【大会実行委員長: 占部城太郎 (東北大学教授)】

参加申し込み (研究発表会・総会・エクスカーション)

参加申込書 (裏面) に必要事項を記入の上、右記へファックスしてください。URL の申し込みフォームでも受け付けます。

詳細は裏面をご参照ください。

公開シンポジウム「生態系機能を活用した減災/防災/復興」

<日時> 平成 27 年 9 月 12 日 (土曜日) 13:00~16:30

<場所> 日本大学工学部 70 号館 7014 (大ホール)

<開催主旨>

復興・防災・減災事業では、地域の自然環境・生態系ネットワークを適正に保全・管理する必要があり、それを実現する手段として、近年、多様な生態系を重要な社会基盤とみなすグリーンインフラストラクチャー (GI) の考え方に注目が集まっている。しかし、GI に関しては、防災・減災機能に関する技術的評価や維持管理、ガバナンスのあり方も含めて、課題や有効性について議論を深める必要がある。そこで、本シンポジウムでは、第一線の研究者を一同に集め、最新の技術的知見や研究課題を共有し、土木技術と生態学の融合をめざす応用生態工学との接点を明らかにするとともに、課題解決に向けた方向性について議論を行い、今後の研究の進展と実事業への適用の出発点となることを目指します。

<プログラム>

13:00 開会 趣旨説明 風間 聡 教授 (東北大学大学院工学研究科)

13:10 招待講演 (同時通訳あり)

講演 1 Kateryna M. Wowk 博士

米国海洋大気庁 (NOAA)

主席エコノミスト室上席社会科学官

講演 2 島谷幸宏 教授 (九州大学大学院工学研究院)

15:30 パネルディスカッション

コーディネーター: 風間 聡 教授 (東北大学大学院工学研究科)

パネリスト: Kateryna M. Wowk 博士

島谷幸宏 教授 (九州大学大学院工学研究院)

古田 尚也 (国際自然保護連合 シニア・プロジェクト・オフィサー)

諏訪 義雄 (国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部海岸研究室長)

16:45 終了予定

(写真は井土浦干潟)



Our Life, with River

河川整備基金

公益財団法人河川財団による

河川整備基金の助成を受けています

一般社団法人東北地域づくり協会の「みちのく国づくり支援事業」として支援を受けています。

協賛: (一社) 東北地域づくり協会

後援: 国土交通省東北地方整備局, 環境省東北地方環境事務所, 福島県, 郡山市, (公財) 河川財団,

(公社) 土木学会東北支部, (一社) 建設コンサルタンツ協会東北支部, 東北環境アセスメント協会

